

ビル崩壊・地震で支援 AMDA 報告会

「現地の人、喜んでくれた」



岡山市の国際医療 NGO「AMDA」が15日、バン
グラデシユの首都ダツカ郊
外で4月24日に起きた8階
建てビル崩壊事故と、中国
四川省で4月20日に起きた
地震に対する支援活動につ
いて報告会を開いた。

ビル崩壊事故では、看護
師の山崎希さん「写真」を
5月1～10日に派遣した。
死者が1千人を超す一方、
生存者も2千人を超え、骨
折や切り傷、手足を切断し

て病院に入院している患者
もいた。その中で山崎さん
は病院3カ所で約300人に
栄養補助食品を配った。
「主に農村から縫製工場に
出稼ぎに来た若い人が被災
している。家族を失ったり
自分もけがをしたりで、シ

ョックで声をだせない人も
多かった」と振り返った。
中国四川省の地震では、
参与の笹山徳治さんを調整
員として4月23～30日に派
遣した。現地は標高2千以
上を超える高地で余震も多
く、落石や土砂崩れで道路
の寸断が頻発していたとい
う。笹山さんは「一番に支
援に来たことを、現地の人
にうれしく受け止めてもら
えた」と話した。(長崎緑子)